

オートレース補助施設
養護盲老人ホーム

ひとみ園要覧

目は見えなくても、老後を楽しく有意義に
もう一度青春ひとみ園!!



平成22年1月30日に
完成した新園舎

社会福祉法人日本失明者協会
養護盲老人ホーム ひとみ園

〒366-0811 埼玉県深谷市人見1665-3
電話 048-573-5222
FAX 048-573-6633
E-mail hitomien5222@yahoo.co.jp
URL <https://hitomien.jimdo.com>

1 ● 入所案内

養護盲老人ホームひとみ園は概ね 60 歳以上の視覚障害者や視覚・聴覚の二重障害者、視覚・聴覚・言語の三重障害者の他、視覚障害者で透析治療を受けている方も入所対象とします。身体障害者手帳を所持していない人も現実に目が不自由であればひとみ園に入所できます。

ひとみ園は、日常生活動作が自立している人、要支援の人、要介護度が 1～5 の人も入所の対象となります。

ひとみ園は、令和元年 7 月 2 日からは契約入所（自費入所）制度がスタートした為、収入の多い人や不動産を所持している人も入所対象となりました（定員の 20% 以内）。この場合は入所希望者と施設との直接契約になります（契約入所の場合の入所費一覧あり）。

それから、養護盲老人ホームの場合は定員の 30% までは貧困な健常高齢者も入所することができます。

2 ● 入所手続き

入所を希望する方はひとみ園が作成した入園申込書、身元引受人就任承諾書、身元引受人がいる場合の誓約書、身元引受人がない場合の誓約書、生活歴の概要に必要事項を記入し居住市区町村役場の養護老人ホーム入所事務担当課を訪れ埼玉県深谷市の養護盲老人ホームひとみ園に入所したい旨の話をし、入所許可を受けて下さい。入所許可が得られた場合は戸籍謄本、健康診断書、医師の紹介状（診療情報提供書）、お薬手帳のコピー、透析条件書（透析を受けている方）、身体障害者手帳のコピーを市区町村役場を経由してひとみ園にご提出下さい。

入所費用はその人の収入によって異なりますが一例を挙げますと障害基礎年金 1 級を受けている程度の年収の方は月額 49,800 円です。ひとみ園ではこのケースが一番多い状況にあります。入所費用は市区町村役場が決定します。

収入が多いことや不動産を所持していることなどで市区町村役場がひとみ園への入所を許可しない方の場合は契約入所（自費入所）制度によりひとみ園に入所することができます。

ひとみ園に、契約入所制度により入所を希望される方は、その旨を電話又は書面によりご連絡いただければ必要書類をお送り致します。

3 ● 入所する際に持参していただくもの

入所する際に持参して頂くものは別紙の「入園する際に持参して頂く品名一覧」をご高覧下さい。

4 ●ひとみ園の成立経緯

この施設は、国立東京視力障害センターの厚生教官をしていた茂木幹央もぎみきおが、昭和50年9月の点字新聞で関東地区では自分の出身県である埼玉県だけに盲老人ホームが無いという事を知った事が動機となり、成立するに至りました。

即ち、茂木はその新聞を読んだ時、「埼玉県に盲老人ホームを造るのは、埼玉県に盲人として生まれた自分の仕事である」と決意し、早くも同年11月には自分の出身地である深谷市に盲老人ホーム建設事業を推進する為の「失明者協会事務所」を設け、「目の見える幸せをこの盲老人ホーム建設事業の為に百円だけ分けていただきたい」という百円募金運動を提唱し資金作りのための活動を開始しました。

盲老人ホーム建設のための活動は、誠に苦しく険しい道のりではありましたが、深谷市自治会連合会や所沢市自治会連合会の団体を挙げての百円募金についてのご協力や国際婦人福祉協会からの寄付、熊谷民謡愛好会からの2回にわたる民謡チャリティーによる収益金の贈呈、沼田曜一さんの民謡チャリティーによる収益金の贈呈、或いは個人による百円募金活動に対するご協力が得られたほか、幸いにも日本小型自動車振興会等からの補助金が決定し、念願の埼玉県に初めての盲老人ホームひとみ園が完成するに至ったわけであります。

施設完成にあたり、関係各位並びに新聞を見て百円募金にご協力くださった名も知らぬ多くの方々に対し衷心より御礼を申し上げる次第でございます。

尚、ひとみ園を建設するに際して必要な土地は、茂木幹央もぎみきおの父である、茂木一三九もぎいっさくから無償にて貸与されました。

深谷市人見1665番3の土地、2,452㎡がそれです。

この土地は、ある時は葱畑、ある時は麦畑でした。

同地は、現在は茂木一三九もぎいっさくから茂木幹央もぎみきおに相続され、茂木幹央から法人に無償にて貸与しています。

※国立東京視力障害センターは、埼玉県所沢市にある国立障害者リハビリテーションセンターの前身施設。



食堂



浴室



エントランスホール

5 ● 施設概要

- 施設 の 名 称： 養護盲老人ホームひとみ園
- 施設の開園年月日： 昭和54（1979）年4月1日
- 施設の入所定員： 120名（令和1（2019）年12月1日より）
- 施設の経営主体： 社会福祉法人日本失明者協会（理事長 茂木 幹央）
- 施設 長： 茂 木 幹 央
- 敷 地 面 積： 10,204㎡
- 構 造 規 模： 鉄筋コンクリート3階建（一部2階建）
- 延 床 面 積： 6,965.725㎡（令和1（2019）年12月1日より）（旧本館、南館、西館、新本館、増築園舎の合計）
- 居 室： 1名用居室 120室（令和1（2019）年12月1日より）
- ク ラ ブ 活 動： 演劇クラブ、文芸クラブ、音楽クラブ、カラオケクラブ、民謡クラブ、詩吟クラブ、手芸クラブ、陶芸クラブ、園芸クラブ、点字クラブ、盲人卓球クラブ、盲人ゲートボールクラブ、歩行訓練クラブ、健康スポーツクラブ
- 諸 行 事： 花祭り、クラブ活動始業式、春の定期健康診断、ピクニック、春期大掃除、盲人ゲートボール大会、七夕祭り交流会、盆供養、埼玉県盲人文芸コンクール、埼玉県盲人芸能コンクール、カラオケ指導員認定全国視覚障害者等カラオケコンクール、盲人演劇祭、納涼大会、ぶどう狩り、敬老祝賀会、秋の彼岸の供養、お月見、バザー、ひとみ園祭（クラブ活動の発表会や盲人演劇の上演等）、日帰り旅行（りんご狩り）、秋の定期健康診断、三療研修会、婦人部研修会、盲人卓球大会、冬期大掃除、クリスマス会、もちつき大会、コンサート鑑賞会、忘年会、新年カラオケ発表会、節分祭、ひな祭り、春の彼岸の供養、クラブ活動終業式、それに毎月開催する誕生会、その他。



演劇ホール



居 室



点字表示

6 ● 施設開園後の経過

旧本館開園：昭和54（1979）年4月1日

旧本館定員：50名

旧本館構造規模：鉄筋コンクリート2階建

旧本館延床面積：1,313.77㎡

旧本館総工費：180,000,000円

その財源内訳	日本小型自動車振興会補助金	110,650,000円
	埼玉県補助金	39,566,000円
	埼玉県市長会補助金	12,000,000円
	埼玉県大里郡町村会補助金	1,003,000円
	寄付金	16,781,000円

旧本館設計監理者：上森建築設計室

旧本館建築施工者：古郡建設株式会社

定員の変更：旧本館の空き部屋を活用して50名定員を55名にする（昭和56（1981）年4月1日）。

南館開園：昭和60（1985）年4月1日

南館定員：25名

定員の変更：55名定員を80名にする（昭和60（1985）年4月1日）。

南館構造規模：鉄筋コンクリート2階建（一部3階建）

南館延床面積：777.755㎡

南館総工費：137,700,000円

その財源内訳	日本小型自動車振興会補助金	82,200,000円
	埼玉県補助金	20,641,000円
	各種団体や個人よりの補助金や助成金	34,859,000円

南館設計監理者：木下建築設計事務所

南館建築施工者：株式会社鈴木工務所

定員の変更：旧本館の空き部屋「アカシア」、「コスモス」を活用して、80名定員を82名にする（昭和63（1988）年1月1日）。

西館開園：平成3（1991）年4月1日

西館定員：18名

定員の変更：82名定員を100名にする（平成3（1991）年4月1日）。

西館構造規模：鉄筋コンクリート2階建（一部3階建）

西館延床面積：642.38㎡

西館総工費：149,763,700円

その財源内訳	日本小型自動車振興会補助金	80,590,000円
	埼玉県補助金	11,382,000円
	各種団体や個人よりの補助金や助成金	57,791,700円

西館設計監理者：木下建築設計事務所

西館建築施工者：株式会社鈴木工務所

法人の名称変更：「社会福祉法人失明者協会」という名称を「社会福祉法人日本失明者協会」という名称に変更する（平成7（1995）年2月9日）。

西館にエレベーター設置：	平成19（2007）年5月	
新本館（新園舎）開園：	平成22（2010）年2月1日	
新本館定員：	57名	
ひとみ園入所定員：	100名（南館25名、西館18名、新本館57名）	
新本館構造規模：	鉄筋コンクリート3階建（一部2階建）	
新本館延床面積：	3,266.54㎡	
ひとみ園延床面積：	6,000.445㎡	
新本館総工費：	756,800,000円	
その財源内訳	埼玉県補助金	178,333,000円
	自己資金、金融機関からの借入金、 各種団体や個人よりの寄付金	578,467,000円
新本館設計監理者：	株式会社ユウ設計事務所	
新本館建築施工者：	横尾建設株式会社	
増築園舎開園：	令和1（2019）年12月1日	
増築園舎定員：	20名	
増築園舎構造規模：	鉄筋コンクリート2階建	
増築園舎延床面積：	965.28㎡	
増築園舎建設総事業費：	352,150,582円	
その財源内訳	銀行からの借入金	300,000,000円
	国県補助金	14,728,000円
	各種団体や個人よりの寄付金	37,422,582円
増築園舎設計監理者：	株式会社ユウ設計事務所	
増築園舎建築施工者：	横尾建設株式会社	
定員の変更：	100名定員を120名にする（令和1（2019）年12月1日）。	



盲人卓球教室



盲人ゲートボール教室



演劇ホール

7

ひとみ園の特色

- ① 2019年12月1日からは居室120室の他に、盲人用映画館、盲人用カラオケ喫茶、歩行訓練を行う為の平行棒室2室、ふれあいサロン、談話コーナー、演劇ホール（本格的な劇場ホール）、盲人卓球教室、機能訓練室、盲人用具展示室、盲人福祉資料室、点字印刷室、点字図書室、陶芸教室、手芸教室、演劇倉庫、浴室（軽度・中度・重度用の浴槽のほか、盲人用のシャワーシステム）、その他各種の盲人が生活しやすいようにする為の工夫あり。
- ② ひとみ園では朝食の場合は、ご飯コース、パン食コースの内いずれかを選択することができる。
- ③ ひとみ園では、盲老人の生きがい活動として、昭和61年11月に劇団「ひとみ」を結成し、本格的な演劇活動を開始した。
昭和62年9月20日には、劇団「ひとみ」は第1回目の公演として、木下順二作「夕鶴」と、川口松太郎作「明治一代女」を上演した。
昭和63年9月18日には、劇団「ひとみ」は第2回目の公演として菊田一夫作「君の名は」と、菅谷俊一作「綾瀬川」を上演した。そのうち「君の名は」の演劇は、浦和放送局のアナウンサーその他によるテレビ取材があり、劇団「ひとみ」の「君の名は」は、昭和63年9月9日（金）午後1時25分NHKテレビ第1チャンネル「関東甲信越ネットワーク」で放映された。
- ④ 介護職員、生活相談員、事務員、看護師、栄養士等は、全て点字の読み書きができる。

増築園舎の写真



映画館



居室



浴室



カラオケ喫茶

■ 深谷駅からひとみ園までの交通案内 ■



JR 高崎線 深谷駅下車

バス利用の場合

■ JR 高崎線深谷駅下車。改札口を出たら右へ曲がり深谷駅南口前に出て下さい。南口前にて深谷市コミュニティーバス南部シャトル便武川駅北口行きのバスに乗車し JA ふかや藤沢支店前にて下車。そこからひとみ園まで徒歩 3 分。バス乗車時間は約 15 分。

タクシー利用の場合

■ 深谷駅南口にてタクシーに乗車、「ひとみ園」と指示してください。深谷駅南口から約 10 分。

■ お問い合わせ ■

養護盲老人ホーム ひとみ園

埼玉県深谷市人見1665-3

TEL 048-573-5222 FAX 048-573-6633

E-mail hitomien5222@yahoo.co.jp